



発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
072-824-1181  
FAX: 824-7760  
No.3532

寝屋川市議員  
**中林かずえ**  
宝町 4-33  
090-3944-8385  
寝屋川市議員  
**松尾信次**  
下木田町 12-6  
090-3056-9924  
寝屋川市議員  
**西田まさみ**  
石津中町 30-3  
090-9713-3588  
前寝屋川市議員  
**太田とおる**  
高柳 2-49-2  
080-3818-9722

# ふるさと納税 返礼品で自治体間競争

## 本来の寄付とは相いれない

### 寝屋川市 市民税約5億7735万円もの減収

ふるさとなどを応援したい自治体を選んで寄付するとして、「ふるさと納税」がはじまり17年。寄付金額は年間1兆円を超えていますが、制度の重大な問題点は明らかです。

ふるさと納税は自治体への納税ではなく、「寄付」です。また、納税者にとっての「ふるさと」の自治体への寄付である必要はなく、制度に参加していない東京都を除くどの自治体に対する寄付にも適用されます。

本来個人の寄付は、見返りをもとめないものです。「社会の役に立ちたい」「団体の趣旨に賛同した」などの理由でされます。ところが、ふるさと納税は、納税者・寄付者の多くは、寄付受け入れ自治体が提供するお得な返礼品をえることが動機になって制度を利用しており、本来の寄付とは程遠いものです。

寄付する人が負担するのではなく、得をする、利益をえる制度となっており、「ふるさと納税」は、寄付ですらありません。ちなみに寝屋川市の場合、寝屋川市民15、262人が他の自治体に多額の寄付をしているため、寝屋川市の市

### 富裕層ほど大きな利益に 非課税の人や世帯には縁のない話

民税は5億7,735万6,000円の減収になります。寝屋川市民から寝屋川市への寄付は15件、69万1,000円にとどまっています(いずれも2023年度)。寝屋川市民が寝屋川市に寄付しても返礼品は出ないからです。

寝屋川市の市民税減収分は、国からの地方交付税で75%補填されますので、実際の市民税の減収は1億4,433万9,000円となります。地方交付税も財源は税金であり、減収分を税金で穴埋めしているという異例の状況です。

ふるさと納税制度は、本質的な問題点があります。

- ①税の原理原則に反しています。税は法律、条例にもとづき、賦課徴収されるもので、住民の自由意思で納税先を選ぶことは税の原理原則に反します。
- ②納税者の意思で納税先自治体を選べるというのは、自治体の徴収権の侵害に当たります。税収を奪われる自治体は財源の減少で、行政サービスの低下につながります。
- ③高額納税者への優遇税制による不正が大きな問題です。高額納税者ほど限度額が高く、2000円の負担だけで、ぬれてに粟の返礼品獲得ができます。非課税の人や世帯には縁

のない話です。税金が多く課税されているほど、お得になる、金持ち優遇は制度のあり方として大きな問題です。

- ④過度な返礼品競争による「税の奪い合い」、自治体間格差を拡大するとともに、都市と農村の対立と分断も生んでいます
- ⑤莫大な税収が失われることです。寄付の5割が返礼品や送料、ポータルサイト委託費、広告費、事務委託費等に消えています。国の地方交付税による穴埋めも税金です。高額な返礼品や経費により、寄付税制としての効率性が確保されません。

返礼品による産業振興をはかってきた自治体では、「下駄を履かせなくても」売れる商品開発等を独自に支援すること、さらに、地方交付税の拡充をすめ、全国の自治体の一般財源保障を拡充することが求められます。

第61回  
枚方・寝屋川・交野  
地区メーデー

日時：5月1日(木)  
午前10時開会

場所：枚方市ニッペパーク  
岡東中央  
(枚方市(旧)岡東中央公園)



### 法律相談

5月8日(木)午後6時半～  
日本共産党  
寝屋川市委員会 会議室  
※予約が必要です

# 日本の食料自給率38% オーストラリア・カナダは200%こえる

## 大阪府の自給率はなんと1%

### 寝屋川市でも都市農業の振興を

3月市議会総務都市創造常任委員会での松尾議員の質問の一部を紹介します。

農業振興については、日本の食料自給率が38%、大阪府はわずか1%という中で、食糧自給率をいかに高めていくか、とりくみの具体化をもとめました。

コメ価格の高騰がつづいていますが、歴代政権が農家に減反を強制。コメをつくる農家が激減。コメをつくっても生活できない状況をつくってきたことが、

いちばんの問題です。お米をはじめ、食糧を安定して供給できる道筋をつくるのが政治の役割です。

寝屋川市はかつて、市域の大半が農地でしたが、現在は5%にすぎません。寝屋川市でも、農業者が高齢化し、若い世代につなげられない状況が広がっています。農業者に対する価格保障、所得補償を政府に要請すること、生活できる農業への条件整備をもとめました。具体的な施策では農

## 幅員32m 府施行の千里丘寝屋川線 寝屋川市が市民とのパイプ役に

千里丘寝屋川線は長さ1,387m、道路幅員32m、4車線。高柳2丁目、上神田1、2丁目、御幸東町、中神田町、下神田町地内が事業区間です。現在の府道木屋門真線の多くが新しい道路に拡幅されます。

一昨年7月、大阪府からの住民説明会がありました。住民からは大きな道路への不安

があり、「1回の説明会だけでは、わからない。もっときちんと説明してほしい」などの声が寄せられています。

とくに、「大型車が確実に増える中で、環境対策、安全対策などきちんと説明してほしい」、「どんな道路になるのか。現在の木屋門真線との関係、信号や横断の関係、工事などについて説明してほ

しい」などの声が住民から寄せられています。

松尾議員は大阪府施行の事業だが、寝屋川市内を通過し、市民生活に影響があるので、寝屋川市として、寝屋川市民の声を大阪府に届けるパイプ役の役割をはたすようもとめました。市は「実態把握につとめる」と答えました。

## たばこ税 たばこの害から健康を守る施策に

今年度予算では、歳入でたばこ税収入として約17億7371万円が計上されています。寝屋川市内でたばこを購入する人が増えれば、市に入るたばこ税は増えます。

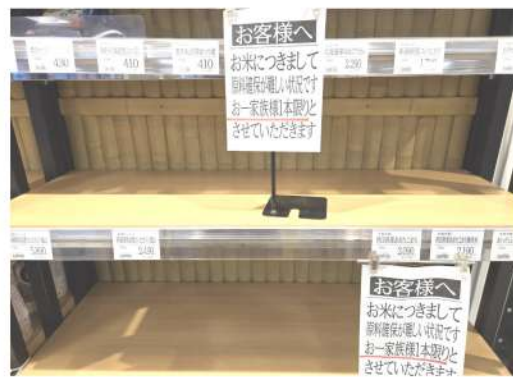
松尾議員は「たばこを吸いすぎて肺気腫になり、苦しんで亡くなった人を何人も見てきた」

たばこの需要減少、年少者の喫煙防止をはかるため、たばこの価格を上げる、課税率を

上げる。たばこ税収は一般財源で、何に使うかの基準がない。

たばこの税収は、たばこの害から健康を守る施策に充てるなど制度の改善を政府に求めるよう指摘しました。

## また、お米がない!



「お米が売っていない」の声にスーパーに行ってみたら、お米の棚は空っぽでした。(2025年4月20日)

地マッチング事業(農地を貸したい人と借りたい人をつなぐ事業)、貸農園事業などの充実を求めました。



## 議員日誌



## 松尾 信次

私は長年市議会議員をつとめ、多くの市民からご相談をきいてきました。特徴の1つに、「親、きょうだいのつきあいがまったくない」、「何十年会っていない、どこにいるかわからない」、などの方が多くことです。

責任をはたすことが基本です。同時に、親子、きょうだいの関係も少しでも改善できるようにすれば、と感じています。

もちろん、それぞれの経過や事情もあります。また、子どもさんも成人すれば、それぞれの人生です。自らの生活、子育てなど自力でとりくむことがいちばんです。

私の場合、市民からの相談が先で、自分のことは後まわしになります。家では買い物やゴミ出し、洗濯干しなどしてありますが、家族と時間をとって話すことなど、改善が必要です。

国や自治体が住民生活、介護や医療などに

私たちが夫婦は子どもがいけません。私には姉が2人いますので、交流や援助もしたいと考えています。